

### 戦没者追悼 平和祈念行事



平成 27 年 9 月 1 日現在
世帯数 2,852 世帯
男 3,455 人
女 3,587 人
総人口 7,042 人

今年には日本の無条件降伏から満70年に当り、各所でその記念行事が行われておりま  
す。島立でも毎年8月には戦  
死者を追悼し、平和を祈念  
する式典が開かれてきました  
が、戦争体験を持つ人たちの  
高齢化は進み、生存者も毎年  
減少して、戦死者を直接記憶  
している方もごく少なくなっ  
てしまいました。

今年8月9日、出張所で  
地区の実行委員会・遺族会な  
どが主催してこの式典が開か  
れました。遺族・一般住民な  
ど約60名が参列し、遺族関係  
者のあいさつ、小中学生の平  
和への決意表明などに続いて  
献花が行われました。

式典後、中央図書館の川村

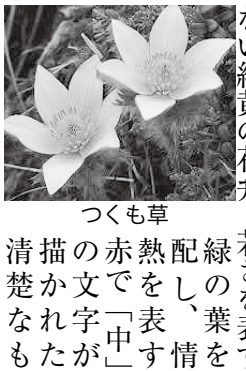


修さんによる「旧陸軍松本飛  
行場の証言を追って」と題す  
る記念講演が行われ、その後  
参列者には当時ならハレの日  
のご馳走だった「すいとん」  
が振舞われました。

町会での慰霊行事が長く  
続いているのは北栗でしょう  
か。今年も8月15日、西生寺  
での「非戦の鐘を撞く集い」  
に続いて遺族会・高齢者クラ  
ブ会員による追悼の墓参が行  
われました。この後西生寺で  
戦没者の慰霊法要、続いて昨  
年から行われているお数珠回  
しが行われました。

会には町会の老若住民約30  
名が参加し、戦後の70年を偲  
び、永遠の平和への努力を誓  
い合いました。

小学校が夏休み中の、7月  
29日～31日の間、島立小学校  
視聴覚室にて、9時と11時の  
2回に分けて、地元の人が講  
師となり、小学生に勉強を教  
える夏季学習教室が開かれ  
20名ほどの児童が勉強に励ん  
でいました。この教室は、信  
州型コミュニティスクールの  
一環で行われ、講師の方は、  
島立公民館長が地域の人に声  
を掛けてくれたり、市民タイ  
ムスの記事を見て問い合わせ  
てくれたそうです。講師を引  
き受けてくれた人からは、「使  
わない頭を使った」や「今と  
昔の教え方が違っていたり、  
普段四則演算とパーセント以  
外使う事がないので、小数点  
の計算に戸惑った」などの感  
想があり、教室に参加した児  
童からは、「漢字のアドバイ  
スしてもらえた」や「今日10  
ページやりたい」などの感想  
がありました。



つくも草  
赤で「中」  
の文字が  
描かれた  
清楚なも

高綱中中学区の住民に  
とって松島中のことを良く  
知らないという方は結構多  
いのではないのでしょうか。そ  
こで夏休み中の8月4日、中  
学校を訪ね、学校創設の経緯  
や学校行事のことなどを教  
頭の山後先生にお伺いして  
きました。

戦後改革により昭和22年、  
新制中学校として島内小に  
併設（同居）して島内中が開  
校しました。施設共用の支障  
を解消するため独立校を建  
設する機運が高まり、島立境  
に近い現在地に既に開校（昭  
和28年）していた高綱中中学  
区域の荒井・堀米・小柴3  
地区を分離し島内全域と併  
合した通学区の松島中学校  
が昭和33年に開校しました。  
学校名は松本市の島内・島立  
という事で「松島」に変更決  
定しました。

学校には校章と校歌は必  
要不可欠です。校章は前身の  
島内中開校の年度末期、在職  
の岡工担当の青柳司郎先生  
が高山植物の「つくも草」を  
デザインしたものです。汚れ  
ない純黄の花弁、若さを表す  
緑の葉を  
配し、情  
熱を表す  
赤で「中」  
の文字が  
描かれた  
清楚なも

### 松島中学校訪問

のでした。これを継続使用  
してききましたが松島中創立  
10周年を迎えるにあたり校  
旗を制定する事となり、こ  
のデザインを基準に分析し  
図解を伴った近代的で造形  
性が強く簡素なものに変わ  
りました。校歌は島内出身  
の某氏に作詞を依頼しまし  
たが断られました。しかし、  
その理由と意志を尊重して  
PTAが自ら作詞、鶴飼貞  
方氏が作曲しました。歌詞  
には校章のもとになった風  
雪に耐えて咲く花「つくも草」  
の一節があり、どんな環境で  
も生き、羽ばたいてほしいと  
の願いが込められています。  
校歌に込められた思いは、今  
年で4年目となる行事の「校  
歌コンクール」で生徒の心  
に一層深く理解されること  
でしょう。

学校行事はこのほかに  
キャンプや文化祭の「つくも  
祭」等があります。なかで  
も松島中の学校教育目標『が  
まん・気づき・思いやり』を  
身につける行事としては伝  
統的燕岳登山の重要度が高  
いと思います。開校の昭和33  
年度から現在まで続いてい  
ます。一年生が対象の期間も  
ありましたが現在では二年  
生の行事となっています。登  
山を通じ集団行動ができ、規  
律を順守し、相互協力ができ、  
将来社会に出た時に立派に  
通用する人間性を養う良い  
機会となつてほしいもので  
す。





## 挑戦してみました

8月21日、三の宮公民館にて、初めての試みとなる「男の料理講習会」が開かれました。

同町会の舟田寛子さんにおつまみレシピを教えて頂くことになり、参加された皆さんは、グループに分かれ作業分担が決まったところから慣れない手つきでひき肉をこねたり、各レシピに合う形に野菜を切り、生イカを細く切るなど大変そうでした。

熱心に取り組まれた結果、手まりシウマイ他、3品が思いのほか早く仕上がりました。

その後、反省会と試食会となり、皆さんの中から「女性たちはすごいもんだ。献立を考えて野菜の切り方や、料理の見栄え、器はこれが良いやらっしてしてくれてるんだね」と話されていました。

## 小柴町会 道祖神祭り

7月11日、町会の子供育成会主催による道祖神祭りが小柴公民館にて行われました。

今年志向を変え、道祖神の起源や小柴町会における道祖神祭りの伝統を町内の年長者の方々から子供達に話してもらった催しを企画しました。

道祖神の起源については、勝野壽雄さんに自筆の絵などを使って分かり易い説明をして頂き、集まった17名の子供達と一緒に親御さん達も興味深く熱心に聞いていました。

他の年長者の方々からは50年前の体験談として、はぜ木と庭を使い子供達だけで組み立てた小屋の中に集まり、空き缶で作ったカンテラや自作の灯笼に口ウソクを灯して道祖神祭りを楽しんだ話に現在の子供達は驚いていました。



## 自然観察会 行われました。



8月23日(日)、沙田神社にて「島立区森・杜探検隊」の自然観察会が、総勢約40名の参加で行われました。

じゃんけん列車などでひとしきり盛り上がった後、境内の自然を楽しみました。タオルで目隠しをして、一列にながってゆつくりと歩き、聞こえてくる音に耳を傾けたり、境内の匂いをかいだり、地面の感触を足で確かめたりしました。また、みんなで手をつないで木の周囲を測ったり、木の高さを簡単に測る方法を指導員の方に教わったりしました。

今回は、小学校低学年の児童の参加が多かったようです。「なんで木の高さがわかるのか不思議だ」「いつも舗装されたところばかり歩いていて、土の上を歩いているんだということがわかった」などの感想が聞かれました。

8月30日(日)に島立・島内・新村・和田の4地区による河西部球技大会が盛大に開催されました。各種目の結果は以下のとおりです。

### 卓球

- 硬式の部
- 優勝…新村
- 準優勝…和田
- 第3位…島立
- ラージボールの部
- 優勝…和田
- 準優勝…新村
- 第3位…島立

### 家庭婦人バレーボール

- 優勝…島内
- 準優勝…和田
- 第3位…島立

### 野球

雨天中止

7月19日(日)に町会対抗野球・マレットゴルフ大会、9月6日(日)に町会対抗ソフトボール大会が盛大に開催されました。各種目の結果は以下のとおりです。

### 野球

- 優勝…永田
- …南栗
- 準優勝…荒井
- …大庭

### マレットゴルフ

- 優勝…三の宮A
- 準優勝…堀米A
- 第3位…南栗A

### ソフトボール

- 優勝…北栗A
- …堀米B
- 準優勝…永田
- …荒井

